

生物系電子ジャーナルパッケージ
UniBio Press

UniBio Press
社団法人日本動物学会
永井 裕子

学協会は学会誌を販売できるか

- 学会誌は会員のためにあるものであり、会誌を販売するという意識はなかなか育たなかった。
- 一方で、海外への認知度を上げたいという意識は早くからあり、商業出版社に販売を委託した学会もある。

日本の学協会雑誌での成功例はあるのか？

国からの手厚い支援は学会を支えた

- 印刷出版費補助金の右上がりの曲線
- JSTAGEという存在

学会は経済的な自立なしに学会誌を出し、電子ジャーナルを出せた。

学会が自立的、自律的である意味はどのような状態を言うのであろうか

わが国初の学協会による 自主的パッケージ

日本哺乳類学会

Mammal Study

日本哺乳動物卵子学会

Journal of Mammalian Ova Research

社団法人日本動物学会

Zoological Science

UniBio Pressにあって、他にはないものは何か？

日本のSPARC事業に参画を表明し、自ら他の学協会と共に、電子ジャーナルパッケージを作るという「意志」を持った事実。

学会、研究者が学術情報の担い手であるという認識。

さらに二誌が参画！

日本古生物学会

Paleontological research

日本鳥学会

ORNITHOLOGICAL Science

学協会の自立と、図書館の値ごろ感、どこで
折り合うか！

UniBio Press購読図書館

北海道大学、東北大学、新潟大学、千葉大学、東京工業大学、東京大学、大阪教育大学、京都大学、兵庫医科大学、鹿児島大学、徳島大学、岩手大学、広島大学、名古屋大学、東京農業大学、日本大学、九州大学(トライアル中)、上越教育大学(トライアル中)、北里大学(トライアル中)

UniBio Press提供にあたりまして

- アクセス認証方法 IPアドレス
- 同時アクセス数 無制限
- 契約終了後のアクセス保障 交渉中
- ILL利用 紙媒体
- 統計出力 あり(COUNTER基準要求)

図書館の方々との連携を目指して

- 国内図書館での購読が海外図書館売り込みに際しては、必須条件！！
- 国内学術誌へ関心を寄せていただきたい。
- 国内図書館での購読は必ずや日本の学術誌を変えていく。
- 学協会の自立、自律こそが、その学問分野を守るという認識に立ちたい。